

臨床予防医学(Clinical Preventive Medicine)の薦め

国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長

日本予防医学リスクマネジメント学会理事長 酒井 亮二

国際予防医学リスクマネジメント連盟の第1回学術総会(2003年3月、国立国際医療センター・国立感染症研究所)では、「Clinical Preventive Medicine (臨床予防医学)」というセッションを提案し、試行しましたが、その後この分野は日本では普及していません。

臨床予防医学とは、高度な知識と技能を有する、病院内で予防医学を行うことです。現在、すでに多くの医療機関では患者さんを対象とする糖尿病に関する教育・指導、ワクチン摂取、麻酔(痛みの予防)などの予防医学が行われています。また、人は傷病で困ったときほど、「病気とは何か、どうすれば健康で安全な生活ができるのか」について大変強い関心を持ちますので、患者さんとその家族を対象にした医学知識の普及と指導を行う絶好の機会です。

国民が病院に求めていることは、単に傷病を治してもらうことだけでしょうか? どうすれば、病気と怪我にならないでいられるかを医療機関が組織的に教えることにより、地域の人から、質の高い医療サービスを行っている病院である、本当に知りたいことを教えてくれる病院である、というより高い評判が得られます。

予防医学は20世紀には地域で行っていましたが、この効果は十分ではありません。その理由は、人はリスクに陥って始めて、何が大切かを学習すること、病気について最も知識の豊かな病院関係者に話を聞きたがっている、と考えます。したがって、臨床予防医学には下記のような活動が考えられます。

臨床リスクマネジメント学 / 臨床リスクコミュニケーション学 / 臨床コミュニケーション学 / 安全な医療 / 感染症対策と患者・家族教育 / 災害・危機管理医学 / 産科・小児科の育児相談 / 病院による健康・スポーツ指導、教育講演会、病院祭 / 介護予防 / 病院による健康相談 / 予防医療 / 緩和医療 / 地域循環移動型医療 / 患者と家族のための図書館 / その他

これらを通じて、住民と対話することにより、自分の病院には何か不足し、何が無駄であるかをより理解できるようになります。

中進国では、先進国での幾つかの失敗を見据えて、予防を中心とする医療活動を国家戦略としている国々があります。日本ではこれらの活動が必ずしも診療報酬の対象になっていないため、臨床での予防医学活動が十分拡大できない原因になっております。病院は全国各地にあるポストのようなもので、国民生活の拠り所ですので、これらが実施できれば、病院は先進的であるとの評判が向上し、地域の人々と一緒になって病院と命の大切さを共有でき、かつ医療費の観点からも大いに有用です。

このような観点は全世界の医療に共通と考えて、世界学会総会でセッションを提案しました。臨床予防医学、すなわち、予防を強く志向する医療機関の活動が21世紀医療の手近なイノベーションの1つと考える次第です。

臨床予防医学(Clinical Preventive Medicine)の薦め

国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長

日本予防医学リスクマネジメント学会理事長 酒井亮二

国際予防医学リスクマネジメント連盟の第1回学術総会(2003年3月、国立国際医療センター・国立感染症研究所)では、「Clinical Preventive Medicine (臨床予防医学)」というセッションを提案し、試行しましたが、その後この分野は日本では普及していません。

臨床予防医学とは、高度な知識と技能を有する、病院内で予防医学を行うことです。現在、すでに多くの医療機関では患者さんを対象とする糖尿病に関する教育・指導、ワクチン摂取、麻酔(痛みの予防)などの予防医学が行われています。また、人は傷病で困ったときほど、「病気とは何か、どうすれば健康で安全な生活ができるのか」について大変強い関心を持ちますので、患者さんとその家族を対象にした医学知識の普及と指導を行う絶好の機会です。

国民が病院に求めていることは、単に傷病を治してもらっただけでしょうか? どうすれば、病気と怪我にならないでいられるかを医療機関が行うことは、地域の人にとってより質の高い医療サービスを行っている病院である、本当に知りたいことを教えてくれる病院である、というより高い評判が得られます。

予防医学は20世紀には地域で行っていましたが、この効果は十分ではありません。その理由は、人はリスクに陥って始めて、何が大切かを学習すること、病気について最も知識の豊かな病院関係者に話を聞いたがっている、と考えます。したがって、臨床予防医学には下記のような活動が考えられます。

臨床リスクマネジメント学 / 臨床リスクコミュニケーション学 / 臨床コミュニケーション学

病院による健康・スポーツ指導・教育講演会 / 介護予防 / 病院による健康相談

予防医療 / 緩和医療 / 地域循環型医療 / 患者と家族のための図書館

安全な医療 / その他

これらを通じて、住民と対話することにより、自分の病院には何か不足し、何が無駄であるかをより理解できるようになります。

すでに中進国でこのような対策が国家戦略になっている国々がありますが、日本ではこれらの活動が必ずしも診療報酬の対象になっていないため、臨床での予防医学活動が拡大できません。病院は全国各地にあるポストのようなもので、国民生活の拠り所ですので、これらが実施できれば、病院は先進的であるとの評判が向上し、地域の人々にも有益で、かつ医療費の観点からも大いに有用です。

このような観点は全世界の医療に共通と考えて、世界学会総会でセッションを提案しました。臨床予防医学、すなわち、予防を強く志向する医療機関の活動が21世紀医療の手近なイノベーションと考える次第です。